



六郷小だより



取手市立六郷小学校
学校だより 第6号
令和7年6月9日発行

「六郷っ子」の学校生活の様子を紹介します！

【5年生】 ICT 機器、タブレットをいろいろ使って学んでいます！

5年生では、タブレット（一人一台端末）を活用した学習を数多く取り入れています。例えば、算数では具体物を使って課題解決を図ったり、タブレットにノートを書き写して大型モニターで友達と考えを共有したりしています。また、「朝のスピーチ」では、全員が自分の生きたい国（テーマも自分たちで相談して決定）について、スライドを作成してプレゼンテーションを行っています。次は新たなテーマで、自分のスピーチ内容に沿ってスライドを作成し、プレゼンテーションを行うそうです。さらに、調理実習では、完成した料理を写真に撮って振り返りも行っています。

5年生のICTスキルがめきめきと向上し、まさにタブレットが文具の一つになってきています。



【6年生】 最高学年として、様々な場面で頑張っています！

6年生では、今までの学びを糧に、授業で友達と活発に話し合ったり、コミュニケーションをとったりしながら、学んでいます。また、理科の実験観察のためのじゃがいも植えでは、教科担任の京相先生から「自分たちで率先して働く児童が多く、素晴らしい。」とお話をうかがいました。昨年も、校長の私が校門近くの草刈りをしていると、「校長先生、いつもありがとうございます。」「お疲れ様です。」と、嬉しい声を掛けてくれるのが、この6年生でした。

学校行事でも、登校班会議では1年生からを班の中心となって束ね、1年生を迎える会では1年生に素敵なペンダントを手作りし、楽しいレクリエーションで下級生たちを楽しませてくれました。今後も、大いに期待しています。



令和7年度 第1回学校運営協議会が行われました！



学校運営協議会とは、現在国や県が積極的導入を推奨しているものです。取手市でも、令和6年度で20校全ての学校が導入しました。学校運営協議会を設置した学校を「コミュニティ・スクール＝CS」と呼んでいます。

学校運営協議会とは、法律に基づき教育委員会により任命された委員が、一定の権限をもって、学校の運営とそのために必要な支援について協議する合議制の機関のことです。委員には、六郷公民館長や郵便局長、学識経験者（元小中学校長、幼稚園教諭）、保護者（元PTA会長、現PTA本部役員）、学校三者（校長・教頭・教務主任）が入っています。

今、国や県では、保護者や地域住民との連携・協働が求められています。六郷小学校でもCSを生かした「地域とともにある学校づくり」、地域学校協働活動を生かした「学校を核とした地域づくり」を推進していきます。

水泳学習が始まりました！

令和7年度の水泳学習が始まりました。今年度より、聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校の室内プールにて、水泳学習を行っています。全学年、3回の実施です。初日の6月6日（金）、六郷っ子たちの笑顔がはじける様子がたくさん見られました。下学年の水泳学習に同行しましたが、水なれから水中歩行、そして泳げる児童はどんどん泳いで、あっという間の70分間でした。早くも次の水泳学習が楽しみだとの声が聞かれました。

